

古墳 フームアツフ。

前回の本誌第6号では、「前方後方墳」の「前方部」が「前」と表現される理由について、江戸時代の学者が作った「前方後円墳」にならって大正時代に提唱された呼び方に由来することを紹介しました。

そこで今回は古墳にまつわる他の呼び方にせまっていきます。

古墳 ってなに?

まず、「古墳」という呼び方については、考古学者の大塚初重氏によれば「一般的には古代の墳墓という意味をもっているが、日本の考古学研究ではもうすこし、限定的な用い方をしている。」として、「日本の古代、ことに弥生(やよい)時代終末の西暦3世紀後半に出現し、7世紀末ごろまでに築造された高塚の墳墓」と現代における「古墳」を定義付けています。

その一方で、「古墳」という言葉が初めて使われた時期についてはいろいろな説があります。ただ、大型の古墳を身近に見ることのできる地域の人たちにとっては、昔(古墳時代?)から「古くて(←いつごろかは知らないけれど)大きなお墓」と認識されてきたのでしょう。各地に残る「塚」「大塚」「銚子塚」「将軍塚」といった字名や通称が、そのような人々の視線を感じさせます。また、「○○森」や「○○山」などの地名からは、「墳墓」とは分からぬものの「(人工の)特別な場所」として見られてきたことが考えられます。

古墳 の種類

みなさんは、古墳の種類をいくつご存じでしょうか。古墳を印象づける重要な要素として「形」と「大きさ」がありますが、ここでは形、特に上方から見た平面形の種類と呼び方を紹介します。

円墳	円形はもっとも多い形で、古墳時代を通して造られた。後期(6世紀)以降は群集するものが多い。 最大のものは埼玉県にある丸墓山古墳(まるはかやまこふん)で、直径約105m、高さ18.9m、周堀幅40mの規模。
方墳	方形を基調とし、横から見た形は台形。奈良県桜山古墳(ますやまこふん)が、一辺85m、高さ15mで最大。
前方後円墳	円形と方形が接した形。世界に残る古代墓の中で、日本独自の形として知られる。近畿地方では3世紀中ごろから6世紀後半まで造られたと考えられ、「古墳時代」が設定される契機となった。東日本では7世紀前半ごろまで造られる。近年では「大王」とその関係者の墓と考えられている。
前方後方墳	2つの方形が接した形。多くは3世紀から5世紀にかけて造られた。前方後円墳の約5,000基に対し、約500基が残る。奈良県の西山古墳が全長180mで最大。大安場1号墳は東北地方で最大。

※参考・引用 大塚初重「日本大百科全書」小学館

この他の形には、帆立貝形・双方中円・双方中方・双円墳・八角墳があり、地下式横穴墓・横穴墓といった「高塚の墳墓」でないものも古墳の仲間として扱われています。

大安場史跡公園

発行:平成24年1月10日

住所:福島県郡山市田村町大善寺字大安場160番地

電話:024-965-1088 FAX:024-965-1090

URL:<http://www.bunka-manabi.or.jp/oyasuba>

Mail:oyasuba@bunka-manabi.or.jp

休館日:月曜日(月曜日が祝日の時は次の休みでない日)

年末年始(12月28日~1月4日)

※公園は年中無休です。



紙へリサイクル可
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

FSC
ミックス
責任ある森林管理により
生まれたFSC®認証紙
を使用しています。

VEGETABLE
OIL INK
環境にやさしいベジタブル
油インキを使用しています。

タイトルは、まるが石剣、さんかくが前方部、しかくは後方部を表現します。



第11号

大安場史跡公園 平成23年度企画展

入場
無料

「福島県中通りの前期古墳を考える」

2月4日(土)~3月4日(日)

9:00~17:00(入場は16:30まで)

今年度の企画展は、郡山市がある中通りを中心に、古墳時代前期の様子について、発掘調査と研究の成果を展示します。

● 場 所: ガイダンス施設エントランスホール



昨年度企画展のようす



参加費
無料

「古代グルメ体験」

2月19日(日)

10:00~12:00

食を通して古代を追体験。古代の知恵と味覚を試してみましょう!

● 内 容: 古代の料理を再現し試食することで古代を追体験する。

● 場 所: 体験学習室

● 募集定員: 30人

● 募 集: 2月1日(水)



午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付(先着順)。

参加費
無料

「人形劇」

2月26日(日)

13:30~15:00

人形劇団「赤いトマト」による愉快なストーリーとパフォーマンスで楽しいひととき♪ 親子で楽しく笑いながら、人と自然についてちょっと考えてみませんか。

● 場 所: 体験学習室

● 募集定員: 100人

● 募 集: 2月1日(水)



午前9時から電話またはガイダンス施設にて受付(先着順)。

気さくな「赤いトマト」のお二人

あしあと

この秋もたくさんの方が当園のイベントに参加してくださいました。

「君も発掘探検隊」

今回は夏のように暑い日でしたが、参加者のみなさんはとても張り切って発掘を体験してくださいました。焼けた砂をものとせず、土器を見つけるたびに歓声があがります。

お土産の土面作りでも楽しそうな様子でした。



「秋」の太陽が照りつける中…



「できてきたぞ～！」

9月25日日

「歴史散歩」

募集開始2日目で定員に達するという人気ぶりの「歴史散歩」。今年は耶麻郡の猪苗代城跡・慧日寺跡・磐梯山恵日寺資料館を巡りました。当日は素晴らしい天気に恵まれた上、現地スタッフの懇切丁寧な解説に、参加された皆さんに満足した様子でした。



復元された慧日寺を歩く参加者



資料館職員の解説を聞く参加者

10月16日日

「君も発掘探検隊」

今年度最後の発掘体験は、本物の遺跡での開催となりました。発掘調査の進行とタイミングが合ったために急きよ実現した体験でしたが、応募されたみなさんは変更を快諾した上にとても楽しみに参加してくださいました。中には「本物」のために緊張していた方も…。

遺跡では調査担当者の説明後に体験開始です。最初はぎこちない手つきで始まったみなさんでしたが、参加者の一人が「古銭」を発見すると、一転して勢い付き、体験時間の1時間はあっという間に過ぎてしまいました。最後は恒例のお土産「土面作り」でしたが、みなさんは興奮した様子で「発掘体験」を話していたのが印象的でした。今後共、チャンスがあれば遺跡で開催したいと思いますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



調査担当者の説明を聞く参加者のみなさん



古銭を発見！



住居跡を発掘しました！

11月6日日

郡山市ふれあい科学館連携事業「古墳でお月見」

今年も郡山市ふれあい科学館のスタッフを講師に迎え、十三夜にお月見を開催しました。当日は、当園スタッフによる解説「古代の人たちが見ていた星空」の後に望遠鏡を利用してお月見をし、科学館スタッフの解説「月の素顔と誕生のひみつ」、お月見限定の工作「粘土でお月さま」と天体三昧の内容でした。

参加された方には「平安時代のお月見だんごを食べてみたい」「月や地球の誕生が分かって大変勉強になった」「月は思っていた以上にぼこぼこしていた」という感想をお寄せいただきました。参加のみなさん、望遠鏡を用意してくださった科学館ボランティアのみなさん、遅くまでありがとうございました！



科学館の水谷氏による解説は画像がいっぱい！



「ボクの番はまだかなあ」「うわあ！」

10月9日日

「古墳まつり 秋」

恒例の古墳まつりは、リピーター続出の火おこし選手権を始め、クイズバトルOYB2011～めざせ!古代クイズ王～古代ライブN.A.S.U.live in OYB・人形劇・勾玉ざんまいを開催しました。震災で古墳が傷んでいるため、どのくらいの方が参加されるかと不安でしたが、みなさんのおかげで盛況のうちに終了することができました。本当にありがとうございました。



問題はどこ？



クイズ王は知識だけではなれません！



変身もしますクイズバトル！



クイズ王たんじょう！



いにしえの音色を奏でるN.A.S.U.



音楽好きならセッションも…。



雨模様のため、場所を変更して開催！



今回の「中学生以上の部」は「おとなの大勝負」となりました。スゴかったです！(汗)

10月29日日・30日日

「歴史講演会『前方後方墳に葬られた人びと』」

毎年大反響の歴史講演会。今年は、著書やTV出演で前方後方墳の先鋭的研究者として知られる赤塚先生（愛知県文化財センター副センター長）を講師にお迎えして開催しました。

当日は、事前募集にもかかわらず、早くから会場に詰め掛けた歴史ファンが多く、みなさんの期待の大きさを感じさせられました。講演では、終始精力的に語られる先生の口調に会場全体が熱気を帯び、最後には非常な盛り上がりの内に活発な質疑応答が交わされました。

赤塚先生、参加のみなさん、おつかれさまでした。



精力的な語り口の赤塚次郎先生



熱気でいっぱいの会場

11月13日日